

知的ナノ計測研究分科会 第九回分科会 議事録

日 時：平成 18 年 3 月 16 日（木）12：30～13：30

場 所：精密工学会春季大会会場

東京理科大学 野田キャンパス 大講義棟 3F K310 号室（会議室 6）
（〒278-8510 千葉県野田市山崎 2641）

出席者：高増（東京大学），清野（東北大学），高（東北大学），高谷（大阪大学），笹島（東工大），古谷（東京電機大学），柳（長岡技術科学大学），明田川（長岡技術科学大学），阿部（（株）ミットヨ），高辻（産総研），大嶋（ソニー（株）），遠藤（福島県庁），天沼（（株）山武），林（（株）ナノ），村木（中央精機（株）），小倉（NEDO），清水（九州工業大学），高橋（東京大学），以上 18 名（敬称略）

配布資料：

1. 第9回知的ナノ計測分科会 参加者名簿（資料①）
2. 知的ナノ計測分科会 終了報告書関連資料
 - 1) 平成17年度収支計算書（資料②）
 - 2) 平成17年度貸借対照表（資料③）
 - 3) 精密工学会分科会成果報告書（第1回～第8回議事録含む）（資料④）
3. 知的ナノ計測専門委員会 計画関連資料
 - 1) 2006年度事業計画書（資料⑤）
 - 2) 委員名簿案（資料⑥）
 - 3) 平成18年度収支予算書（資料⑦）

内 容：

1. 知的ナノ計測分科会 終了報告
高増幹事より，資料②，③，④に基づき，分科会終了報告がなされた。
2. 知的ナノ計測専門委員会について
高増幹事より，平成18年2月に設置が認可された知的ナノ計測専門委員会の計画概要（資料⑤，⑥，⑦）が説明され，今後の進め方について，フリーディスカッションを行った。ディスカッションにおいて出てきた意見を以下に挙げる。
 - 委員の勧誘について
 - ・ 現状，法人委員が少ない。
 - ・ まずはスタート時の勧誘が重要。
 - ◇ 早急に「委員会への参加勧誘」ビラを準備することが必要
 - ◇ 現委員の人脈を最大限に活かし勧誘する。
 - ・ 法人会員の方にメリットのある運営が必要（勉強会の実施など）。
 - ・ また，スタート後も，常に出入りを意識，定常的な勧誘を続けることも重要。
 - ◇ 「委員会への参加勧誘」ビラは常に各委員の手元に届くようにする。
 - ◇ 展示会等において，展示会参加者に宣伝すると同時に，展示者にも参加を呼びかける。展示者リストを入手して，宣伝する。
 - 設立総会について
 - ◇ 5月or6月に知的ナノ専門委員会設立総会を開催する。
 - ◇ 運営委員会において，専門委員会規則案策定とともに，設立総会の具現化を進める。

- 今後の運営について
 - ・ 会費について
 - ◇ 法人会費は、5万円
 - ◇ 個人会員は、3000円程度
 - ・ 専門委員会規則を定める必要がある。
 - ・ HP, メーリングリストの整備も必要か。

- 今後の活動について
 - ・ 国際会議, 有料セミナー, 展示会の出展等の意見が出された。
 - ・ まず, 運営委員会, ワーキンググループ (WG) を立ち上げ, 具体的な活動方針を詰める。
 - ・ 国のプロジェクトへの申請も重要。(現状は, 科学研究費基盤研究 (C) (企画調査) に申請中, この後, 特定領域研究への発展を目指す)

以上